年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（３学年用）教科　　芸術　　科目 ソルフェージュと鑑賞研究

教　科：　芸術　　科　目：　ソルフェージュと鑑賞研究　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　6 組

教科担当者：（　1組～6組　前田　　）

使用教科書：（　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　ソルフェージュと鑑賞研究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌	器	創						
1学期	【知識及び技能】 様々な楽器に必要な奏法を身に付け、楽曲にふさわしい演奏を自ら創造的に出来る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の構成内容を自ら感じ取り、具体的に音楽で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら協働的に取り組むことにより、音楽のハーモニーの豊かさやメロディの美しさを感じ取ることが出来る。	・バンドの編成についての知識を身に付ける。 ・それぞれの楽器の役割を理解する。 ・様々な楽器に分かれ基本的な奏法を学ぶ。 ・簡単なアンサンブルの楽曲をマスターする。 ・グループでアンサンブルを行う。 ・完成した楽曲のレコーディングを行い、鑑賞する。 ・ボーカルやコーラスにチャレンジし、楽曲にふさわしい表現を行う。	○	○		○	【知識及び技能】 バンドや楽器の基礎知識を学び、基本的な奏法を練習し、楽曲に活かすことが出来ている。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の構成やリズムを理解し、具体的な表現として生かすことが出来ている。 【学びに向かう力、人間性等】 楽器の技術のを主体的に学び、具体的な表現と結び付けて考えようとしている。他者と協力し学び合いを積極的に行うことが出来ている。	○	○	○	22
2学期	【知識及び技能】 様々な楽器に必要な奏法を身に付け、楽曲にふさわしい演奏を自ら創造的に出来る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の構成内容を自ら感じ取り、具体的に音楽で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら協働的に取り組むことにより、音楽のハーモニーの豊かさやメロディの美しさを感じ取ることが出来る。	・バンドの編成についての知識を身に付ける。 ・それぞれの楽器の役割を理解する。 ・様々な楽器に分かれ基本的な奏法を学ぶ。 ・簡単なアンサンブルの楽曲をマスターする。 ・グループでアンサンブルを行う。 ・完成した楽曲のレコーディングを行い、鑑賞する。 ・ボーカルやコーラスにチャレンジし、楽曲にふさわしい表現を行う。	○	○		○	【知識及び技能】 バンドや楽器の基礎知識を学び、基本的な奏法を練習し、楽曲に活かすことが出来ている。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の構成やリズムを理解し、具体的な表現として生かすことが出来ている。 【学びに向かう力、人間性等】 楽器の技術のを主体的に学び、具体的な表現と結び付けて考えようとしている。他者と協力し学び合いを積極的に行うことが出来ている。	○	○	○	20
3学期	【知識及び技能】 様々な楽器に必要な奏法を身に付け、楽曲にふさわしい演奏を自ら創造的に出来る力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の構成内容を自ら感じ取り、具体的に音楽で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら協働的に取り組むことにより、音楽のハーモニーの豊かさやメロディの美しさを感じ取ることが出来る。	・バンドの編成についての知識を身に付ける。 ・それぞれの楽器の役割を理解する。 ・様々な楽器に分かれ基本的な奏法を学ぶ。 ・簡単なアンサンブルの楽曲をマスターする。 ・グループでアンサンブルを行う。 ・完成した楽曲のレコーディングを行い、鑑賞する。 ・ボーカルやコーラスにチャレンジし、楽曲にふさわしい表現を行う。	○	○		○	【知識及び技能】 バンドや楽器の基礎知識を学び、基本的な奏法を練習し、楽曲に活かすことが出来ている。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の構成やリズムを理解し、具体的な表現として生かすことが出来ている。 【学びに向かう力、人間性等】 楽器の技術のを主体的に学び、具体的な表現と結び付けて考えようとしている。他者と協力し学び合いを積極的に行うことが出来ている。	○	○	○	4
											合計 46